

投稿の手引 (暫定版)

情報知識学会誌では編集と印刷に ISO 規格 8879 の SGML(Standard Generalized Mark-up Language)を採用しています。もっとも、SGML 独特の記法は一般の方には分かりにくいので、著者用になるべく分かりやすい記法を用意しました。それにしても、原稿の書き方が他の学会誌とはかなり異なりますので、ご注意ください。

1) 原稿の種類

巻頭言、総説、解説、論文などがあります。論文は原著論文で、日本語または英語で書いてください。また、原稿には投稿原稿と依頼原稿とがあります。

2) 査読と採否

論文の採否は査読委員の意見をもとに編集委員会が審査して決定し、その結果を著者に通知します。また、内容の改善を求めることもあります。一方、論文以外の原稿については査読の結果、表現の分かりやすさなどの点から修正をお願いすることがあります。

3) 原稿の作成法と送付先

原稿のうち、図面や表以外の部分(以下、文字原稿という)はワードプロセッサで作成し、そのフロッピー・ディスクと、紙に出力したもの2部(うち1部は査読用)とを提出してください。図面や表については、フロッピー・ディスクではなく、別紙として添付願います。ただし、表や図が $\text{\LaTeX}$ で書かれている場合は、そのフロッピー・ディスクも提出してください。

いずれにしても、著者の入力された文字がそのまま印刷されますので、くれぐれも誤字のないようご注意ください。また、査読の結果により修正される際は、紙出力のみでなくフロッピー・ディスクの方の修正もお忘れないように願います。

原稿は封筒に「情報知識学会誌原稿在中」と朱書して学会事務局宛お送りください。折り返し受付通知をお送りします。

4) 原稿の構成

表題、著者名、著者所属、要約、本文、文献リスト、注、表、図の順に並べてください。

5) 表題、著者名ほかの書き方

文字原稿の第1ページに、和文表題、英文表題、著者名の和文表記、同欧文表記、著者所属、同欧文表記をつぎに示すように書いてください。ここで、◎印は項目識別のためのマークです。また、↓印は改行を明示するために特に印字したもので、実際の原稿では単に改行するだけで結構です。

・文字原稿の第1ページの例

◎表題↓

情報知識学の研究↓

A Study of Information and Knowledge Science

↓

◎著者↓

情報 太郎↓

Taroh Jouhou ↓

東西大学知識学部↓

Faculty of knowledge, University of Touzai ↓

知識 花子↓

Hanako Chisiki ↓

南北製作所情報研究所↓

Information Institute, Nanboku Inc. ↓

6) 要約

第2ページには和文要約、英文要約を次に示すように書いてください。・文字原稿の第2ページの例

◎要約

情報知識学について、その歴史的背景、対象領域……

↓

◎英文要約

Present authors investigate ……

7) 本文

本文は第3ページから書いてください。ページ当り、一行23字(全角文字)の30行をお願いします。原稿3頁弱で刷り上がり1頁となります。なお、句読点は、と。とし、全角一文字分とってください。また、数字、アルファベットは、全て半角文字としてください。

本文が英語の場合、一行は46字(半角文字)でお願いします。

謝辞がある場合は、本文の後ろに置き、目印のために、◎謝辞↓と書いてから始めてください。

8) 本文の構成

次の例に示すようにポイント・システムとしてください。

1. はじめに

2. 情報と知識

2.1 情報

2.1.1 歴史的背景

2.1.2 情報の定義

9) 文献参照

文献は文献リストの番号で参照します。本文中には目印のために番号の前に「◎文献」を入れてください。たとえば、

……鈴木 3) によれば、情報の定義は……

は、次のようにしてください。

……鈴木◎文献 3) によれば、情報の定義は……

10) 図表の挿入場所指定と参照の仕方

本文中で図や表の挿入場所を指定するには、次のように改行して図表の番号とタイトルを書き、その後で改行して本文を続けてください。

……本文…… ↓

<図 1 知識の構成 ↓

……本文…… ↓

<表 2 データ項目 ↓

……本文…… ↓

また、図や表を参照する場合は、目印のために◎を本文中に入れてください。たとえば、「……を◎図 1 に示す。」とか、「……については◎表 2 を参照……」などとしします。

11) 注

注は原則として脚注ではなく、本文の後ろに並べる形式とします。また、略号の説明などは注や脚注とはせずに、本文中に括弧書きで入れて下さい。注は注のリストの番号で参照します。その数字の前に目印のために「◎注」を入れてください。たとえば、本文は、

……国中◎注 1) とは邪馬台国連合のうちという意味であり、……

とし、本文の後ろに置く注のリストの方は、◎注↓としてから、

1) 倭人伝の国中の国とは、倭国をさし、……
……である。↓

としてください。

特に脚注を使いたい場合は、次のように改行してから〔と〕で括った注の内容を書き、また改行して本文を続けてください。

……「国中」 ↓

◎脚注〔倭人伝の国中の国とは、倭国をさし、……
……である。〕 ↓

とは邪馬台国連合のうちという意味であり、……

12) 数式

数式を書く時は、次のように式番号を付けてください。

$$a + b + c = x \quad (1)$$

また、数式の表記が複雑な場合は、紙出力の方に赤字で補足説明をしてください。なお、 $\text{\LaTeX}$ で数式が書かれている場合は、その旨お書きください。

本文中で数式を参照する場合は、目印のために◎をつけて「求める値は◎式 1 を使って……」のようにして下さい。

13) 文献リスト

例に示すように、文献リストであることを示す目印として◎文献↓としてから、文献番号ごとに著者、論文表題、雑誌名、巻号頁、刊行年などを改行しながら書いてください。

◎文献 ↓

1) 東京 太郎, 大阪 次郎 ↓

CD-ROM の活用 ↓

情報学会誌 ↓

10(1)5-20(1989).

付記：以上、SGML 形式への自動変換を意識した著者向けの記法をごく簡単に説明した。これは何といっても初めての試みのため、暫定版である。今後、経験を積んで改良していきたい。

学会誌編集委員会

委員長 岩田 修一（東京大学）

委員 芦崎 達雄（日本科学技術情報センター）

大河原宏之*（東印郡山青果（株））

兼子 有史*（東北工業（株））

小山 照夫（学術情報センター）

佐久間達郎**（凸版印刷（株））

曾我部 健（三菱総合研究所）

高橋 靖明*（凸版印刷（株））

中嶋 二一（奈良大学）

根岸 正光（学術情報センター）

樋口 忠治（九州大学）

松田 芳郎（一橋大学）

八重樫純樹（国立歴史民族博物館）

米田 幸夫（東海大学）

石塚 英弘（図書館情報大学）

岡 謙太郎（大日本印刷（株））

国谷 治郎（（株）日立製作所）

坂井 昭宏（千葉大学）

菅原 秀明（理化学研究所）

高木 隆司（東京農工大学）

田中 洋一**（凸版印刷（株））

長瀬 真理（東京女子大学）

橋本 修利（日刊工業新聞社）

藤原 譲（筑波大学）

宮城 厚二*（凸版印刷（株））

安澤 秀一（明海大学）

* 現在は退任

** 新任

本誌は、凸版印刷（株）の協力により、電子出版の国際規格である SGML (Standard Generalized Mark-up Language, ISO 規格 8879) を採用して作成された、貼込みなしの完全電子出版印刷物です。

情報知識学会誌 1 巻 1 号

1990 年 11 月 30 日印刷

1990 年 12 月 20 日発行

定価 1,800 円 (本体 1,748 円)

発行者 米田 幸夫

印刷所 凸版印刷（株）

発行所 情報知識学会 〒101 東京都千代田区三崎町 2-18-5（京三会館）

© 1990 Japan Society of Information and Knowledge

TEL 03(3263)4645

FAX 03(5275)1466